

教科の目標、各科目の目標及び内容の系統表（高等学校芸術科美術）

教科目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
	「知識及び技能」	(1) 芸術に関する各科目の特質について理解を深めるとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。		
	「思考力、判断力、表現力等」	(2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。		
	「学びに向かう力、人間性等」	(3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
1 目 標	美術Ⅰ		美術Ⅱ	美術Ⅲ
	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	「知識及び技能」	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。
	「思考力、判断力、表現力等」	(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	(2) 造形的なよさや美しさ、独自の表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
	「学びに向かう力、人間性等」	(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
	表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。		表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。	表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。
	(1) 絵画・彫刻 絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		(1) 絵画・彫刻 絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(1) 絵画・彫刻 絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	「思考力、判断力、表現力等」	ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想
		(7) 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。	(7) 自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成すること。	(7) 自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから独自の主題を生成し、主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練ること。
		(4) 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。	(4) 主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。	
		イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能
	「技能」	(7) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。	(7) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。	(7) 主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すこと。
(4) 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すこと。				
(2) デザイン デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		(2) デザイン デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(2) デザイン デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア 目的や機能などを考えた発想や構想		ア 目的や機能などを考えた発想や構想	ア 目的や機能などを考えた発想や構想	
「思考力、判断力、表現力等」	(7) 目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成すること。	(7) 目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成すること。	(7) 目的や条件などを基に、デザインの社会的な役割について考察して独自の主題を生成し、主題に応じた表現効果を考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練ること。	
	(4) デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。	(4) 社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。		
	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	
	(7) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。	(7) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。	(7) 主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すこと。	
「技能」	(4) 表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表すこと。			
	(3) 映像メディア表現 映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(3) 映像メディア表現 映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(3) 映像メディア表現 映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
	ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想	ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想	ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想	
	(7) 感じ取ったことや考えたことなど、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。	(7) 自然や自己、人と社会とのつながりなどを深く見つめ、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。	(7) 映像メディアの特性を生かして独自の主題を生成し、主題に応じた表現の可能性や効果について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練ること。	
「思考力、判断力、表現力等」	(4) 色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練ること。	(4) 映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。	(4) 映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。	
	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能	
	(7) 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。	(7) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。	(7) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。	
	(4) 表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表すこと。			
鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。		鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。	鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。	
(1) 鑑賞 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		(1) 鑑賞 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(1) 鑑賞 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
「思考力、判断力、表現力等」	ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞	ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞	ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞	
	(7) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。	(7) 造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めること。	(7) 造形的なよさや美しさ、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めること。	
	(4) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。	(4) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。		
	(7) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。			
	イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞	イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞	イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞	
	(7) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術の関わり、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。	(7) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。	(7) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、国際理解に果たす美術の役割や美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めること。	
(4) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。	(4) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから表現の独自性などを感じ取り、時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違点や共通点などから美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。			
表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。		表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。	表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。	
(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
「知識」	ア 造形の要素の働きを理解すること。	ア 造形の要素の働きを理解すること。	ア 造形の要素の働きを理解すること。	
	イ 造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。	イ 造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。	イ 造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。	
共通事項	表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。		表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。	
	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	